

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		区民憲章普及啓発				所管	企画財政部 企画課	
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名		事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標]						
		[小 柱]						
		[施 策]						
	根拠法令等	その他		[法令等名]	なし			
	事業対象	一般区民						
	事業目的	区民生活の願い・目標である区民憲章を広く継続的に区民周知し、内容を理解してもらうことで、区民の自発的な行動の喚起を図る。						
	事業内容	(1)副読本の作成、配布(小学校低学年、高学年、中学校・一般用) (2)区有施設への掲示(額装設置)						
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	区民憲章副読本 作成数 部		—	3,300	3,300	3,300	
		区民憲章額装 設置数(累計) 箇所		103	103	103	103	
	成果指標	区民憲章副読本 配付数(累計) 部		37,562	24,546	27,818	30,962	
	決算額 (単位：千円)				507	447	447	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			4,500	1,602	1,704	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			507	447	447	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			5,007	2,049	2,151	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源(区負担額)			5,007	2,049	2,151			
前年度から改善した事項								
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	ニーズに大きな変化はないが、台東区をより良くするための、区民一人ひとりの自発的な行動を喚起するためには、本事業を通じて、区民憲章の理念を継続的に周知啓発していくことが必要である。					
	効率性	3	コストや効率性に大きな変化はなく、引き続き事業の効率的な執行に努めた。					
	手段の適切性	3	副読本を毎年発行し、長期的な視点から、区の将来を担う子どもたちに向けて重点的かつ継続的に普及啓発を図る方法はおおむね適切である。					
	目的達成度	4	区民憲章副読本の配布や区有施設への額装設置を通じて、区民憲章の普及啓発を継続的に行うことで、台東区をより良くするための行動を起こすきっかけづくりとして相応の効果を上げている。					
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
区民憲章を広く継続的に周知し、区民の自発的な行動の喚起を図るため、長期的な視点から、今後も、区の将来を担う小中学生を中心に、区民憲章の普及啓発を図っていく。							維持	